

製品名: サイクリン D2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86391**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:200-1:500,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:33 kDa; Observed MW:33 kDa

抗原情報

遺伝子名	Cyclin D2
別名	MPPH3; KIAK0002
遺伝子 ID	894
SwissProt ID	P30279
免疫原	ヒトサイクリン D2 の組み換えタンパク質

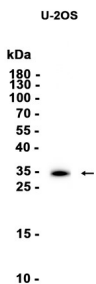
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、高度に保存されたサイクリンファミリーに属し、そのメンバーは細胞周期を通して

タンパク質存在量の劇的な周期性によって特徴付けられる。サイクリンは CDK キナーゼの調節因子として機能する。異なるサイクリンはそれぞれ異なる発現および分解パターンを示し、各有糸分裂イベントの時間的調整に寄与する。このサイクリンは CDK4 または CDK6 と複合体を形成し、複合体の調節サブユニットとして機能する。この複合体の活性は細胞周期の G1/S 遷移に必要である。このタンパク質は、腫瘍抑制タンパク質 Rb と相互作用し、そのリン酸化に関与することが示されている。マウスにおける相同遺伝子のノックアウト研究では、この遺伝子が卵巣顆粒膜および生殖細胞の増殖に不可欠な役割を果たしていることが示唆されている。この遺伝子の高レベル発現は、卵巣腫瘍および精巣腫瘍で観察された。この遺伝子の変異は、大脳多小回旋多指症水頭症症候群 3 (MPPH3) と関連している。[RefSeq 提供、2014 年 9 月]

研究分野

画像データ



サイクリン D2 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した U-2OS 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。